

研究課題名	冠動脈石灰化病変に対する薬剤塗布バルーン治療を受けた患者の臨床転帰についての研究
研究機関名	武蔵野赤十字病院
研究責任者	所属 循環器内科 氏名 松山 麻央
研究期間	(西暦) 2024 年 1 月 ~ 2024 年 3 月
研究の意義・目的	石灰化を伴う冠動脈疾患は、患者の高齢化や多様化する併存疾患の影響などにより増加傾向にある。薬剤塗布バルーンは、血管内皮に対し抗増殖作用をもつパクリタキセルなどの薬剤を塗り込むことを目的に開発された。人工的な異物やポリマーを残さないため、超遅発性ステント血栓症のリスクや、長期の抗血小板二剤併用療法の必要性が減少し、関連する出血性合併症のリスクが軽減する可能性があると考えられる。本研究は、石灰化を伴う冠動脈疾患に対する薬剤塗布バルーン治療の臨床転帰を明らかにすることを目的とする。
研究の方法 (対象期間含む)	2018年4月から2022年6月までに石灰化を伴う新規冠動脈疾患に対し、薬剤塗布バルーンを使用した経皮的冠動脈形成術を施行した患者のデータを集める、観察後ろ向き研究である。
①試料・情報の利用 目的及び利用方法 (匿名加工する場合や 他機関へ提供される場 合はその方法含む) ②利用し、又は提供す る試料・情報の項目 ③利用する者の範囲 ④試料・情報の管理 について責任を有す る者の氏名又は名称	①電子カルテよりデータを収集する。抽出したデータは、匿名化し連結不可能なデータとし統計学的解析を行う。データは電子カルテ上のファイルに保存する。報告終了後5年以内にファイルから削除する。 ②主要項目は臨床診断、併存疾患、喫煙歴、使用した薬剤塗布バルーン のサイズ、周術期の補助循環デバイスの使用歴、臨床転帰などである。 ③研究者 (武蔵野赤十字病院 循環器内科 医師) ④武蔵野赤十字病院 循環器内科 松山 麻央
問合せ先	当研究に自分の試料・情報利用を停止する場合等のお問い合わせ  〒180-8610 東京都武蔵野市境南町1-26-1 武蔵野赤十字病院 所属 循環器内科 氏名 松山 麻央  TEL : 0422-32-3111 (代表) 6812 (事務局内線) FAX : 0422-32-3525